

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		主担当課:(水道)水道工事課・(下水道)下水道工事課 担当課:上下水道総務課、お客さまサービス課、下水道工事課、浄水課、下水道施設課、北部上下水道課、天竜上下水道課
	03	06	01	01	01	

政策
上下水道の施設強靱化等による防災・減災の推進

政策の内容

上下水道施設の耐震化、老朽管更新などの強靱化や、雨水貯留施設の整備などの雨水対策による防災・減災を重点的に実施します。
災害時に上下水道一体で効率的かつ効果的に対応する体制を整備します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・人口減少などにより料金収入等が減少する中、上下水道施設の老朽化が進み、今後の事業量も増加する見込み。加えて、資材価格や労務費が上昇しており、さらなる経営効率化や計画的な財政運営が必要になっている。
・自然災害の頻発化と激甚化が進んでおり、特に令和6年能登半島地震では上下水道施設に甚大な被害が生じた。この経験から、浄水場、浄化センター等の上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を推進する必要がある。
・デジタル技術の進展は、施設の運営や維持管理、業務管理などの事業運営において大きな変革をもたらすことが期待されており、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する必要がある。
・国目標の2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進する必要がある。
・今後10年間(2025～2034年度)で本市の上下水道事業が目指す方向や今後の取組などを示す上下水道一体の「浜松市上下水道基本計画」に基づき、取組を進めている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	12,547,276				
決算	14,148,355				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	88.1				
会計年度任用職員	7.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	4.3				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
耐震化	○水道事業 【水道工事課】 管路耐震化実施設計業務委託(南部幹線ほか4件) 管路耐震化工事(米津法枝幹線ほか17件) 【浄水課】 大原浄水場2系沈殿池耐震補強工事(R7~8) 【天竜上下水道課】 天竜管内配水管耐震化詳細設計業務委託、龍山町西川低区配水池詳細設計業務委託 ○下水道事業 【下水道工事課】 管きょ耐震診断委託、細江浄化センター耐震補強実施設計委託 浅田幹線管きょ耐震化工事 など	3,086,177
		2,856,871
老朽化対策	<管路の老朽化対策> ○水道事業 【水道工事課】 漏水調査業務委託、老朽管更新工事(森田町地内ほか30件) 配水管改良実施設計業務委託(米津町地内ほか4件)など 【北部上下水道課】 老朽管等更新工事(浜名区引佐町伊平外) 老朽管等更新実施設計委託(浜名区東美園外) 【天竜上下水道課】 佐久間町城西給水区水管橋実施設計業務委託、横山町地内老朽管更新工事 只来地内老朽管更新工事など ○下水道事業 【下水道工事課】 中部処理区枝線管きょ改築実施設計委託、中部処理区枝線管きょ改築工事など <浄水場・浄化センター等の老朽化対策> ○水道事業 【浄水課】 大原浄水場再構築基本構想策定業務委託、大原浄水場等の改修・更新工事など 【北部上下水道課】 小林配水場非常用発電機更新工事など 【天竜上下水道課】 浦川浄水場施設改良工事など ○下水道事業 【下水道工事課】 西遠浄化センター放流渠改築工事(土木)、中部浄化センター水処理電気設備改築工事 中部浄化センター水処理電気設備改築工事 コンセプション整備事業(西遠浄化センター汚泥濃縮及び汚泥脱水機改築工事、 西遠浄化センター電気設備改築工事など)など	9,209,166
		11,129,568
濁水・濁水等対策	○水道事業 【水道工事課】【天竜上下水道課】 天竜川や地下水等の自己水源と遠州水道受水の組み合わせによる水源の多系統化や複数化の検討	-
		-
雨水対策	○下水道事業 【下水道工事課】 堀留川上流エリア雨水貯留施設設置基本計画策定業務委託 中部処理区浸水対策施設検討事業、浜北中央北土地区画整理事業雨水渠整備など	234,107
		147,489

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
災害等へのソフト 対策	<防災体制の整備> ○水道事業 【上下水道総務課】 災害時の緊急対応に必要な備品などの備え及び通信環境の整備に要する経費 【お客さまサービス課】 組立式簡易水槽等の防災対策備品の購入 ○下水道事業会計 【上下水道総務課】 災害時の通信環境の整備に要する経費 【下水道工事課】 金属探知機購入	17,826
	<受援・応援体制の強化> ○水道事業 【上下水道総務課】 災害時の受援・応援の体制強化に資する経費(他都市等との訓練、会議等)、他都市への災害応援経費 ○下水道事業 【上下水道総務課】 災害時の受援・応援の体制強化に資する経費(他都市等との訓練、会議等)、他都市への災害応援経費(珠洲市への長期派遣経費を含む) 【下水道工事課】 災害支援連絡会会場借上 <自助・共助の促進> ○下水道事業 【下水道施設課】 防災対応資機材	14,427

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
避難所等の重要 施設に接続する 水道管路の耐震 適合率(%)	地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)のうち、耐震適合性を有する管路の割合	対策が必要な避難所等の重要施設に接続する水道管路等について、今後概ね10年間で耐震化し、対象とする施設に接続する水道管路等の耐震化完了を活動指標として設定	目標値	-	80.9	83.1	84.9	87.1	89.1
			実績値	79.6	81.6				
			達成率	-	101%				
避難所等の重要 施設に接続する 下水道管路の耐 震化率(%)	地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な施設に接続する下水道管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路)のうち、耐震性を有する下水道管路の割合	対策が必要な避難所等の重要施設に接続する下水道管路等について、今後概ね10年間で耐震化し、対象とする施設に接続する下水道管路等の耐震化完了を活動指標として設定	目標値	-	81.8	94.5	94.5	94.5	94.5
			実績値	83.6	94.4				
			達成率	-	115%				

※達成率は該年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
避難所等の重要施設(99施設)のうち、上下水道管路等(下水道事業計画区域外の水道管路を含む)の耐震性能確保済みの施設数(件)	地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な施設において、接続する上下水道管路双方の耐震性能が確保されている施設数	上下水道一体による耐震化における総合的な短期成果指標として設定	目標値	-	18	22	24	36	40
			実績値	16	18				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
避難所等の重要施設(99施設)のうち、上下水道管路等(下水道事業計画区域外の水道管路を含む)の耐震性能確保済みの施設数(件)	○	地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な施設において、接続する上下水道管路双方の耐震性能が確保されている施設数	実績値	16	18					99
			達成率	16%	18%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
耐震化	○水道事業 被災時に広域かつ長期間の影響が生じる基幹管路のうち、特に重要な配水本管の耐震化を実施した。 ○下水道事業 下水道管路は、旧流域幹線の耐震診断業務や浅田幹線外3箇所の耐震化工事を実施した。 下水道施設は、細江浄化センター耐震補強実施設計委託を実施した。	○水道事業 未耐震の配水本管の耐震化を進める。 ○下水道事業 下水道管路・施設の耐震化を進める。
老朽化対策	○水道事業 重要施設に接続する配水支管や漏水実績の多い铸铁管、硬質塩化ビニル管を中心に更新を行った。 水道管路総延長約5,500kmを5年で一巡するよう計画的な漏水調査を実施した。 ○下水道事業 下水道管路は、中部処理区内の30年経過コンクリート管を対象に、改築実施設計や管更生工事を実施した。 下水道施設は、西遠浄化センター放流渠改築工事(土木)、中部浄化センター水処理電気設備改築工事、コンセプション整備事業(西遠浄化センター汚泥濃縮及び汚泥脱水機改築工事、西遠浄化センター電気設備改築工事ほか)を実施した。	○水道事業 重要施設に接続する配水支管や漏水実績の多い管路を集中的に更新するとともに、铸铁管を中心とした計画的な漏水調査を進める。 ○下水道事業 下水道管路は、中部処理区内の30年経過コンクリート管の修繕・改築を進めるとともに、下水道施設の改築を進める。
濁水・濁水等対策	佐久間町浦川浄水場電気・機械設備等改良工事を実施した。	中山間地域における水源施設の整備及び浄水機能の強化等を進める。
雨水対策	浜松市総合雨水対策計画2024における重点対策エリア「堀留川上流エリア」及び「新川・曳馬川エリア」の浸水対策施設の検討を実施した。 また、浜北中央北土地区画整理事業雨水渠整備(北側雨水渠)を実施した。	浜松市総合雨水対策計画2024に基づき、公共下水道による雨水対策を進める。
災害等へのソフト対策	・マニュアル等の検証・見直しを目的とした部内防災訓練を実施した。 ・本市が被災した際の受援における課題検証を目的に、堺市と訓練を実施した。 ・飲料水の備蓄や給水拠点に関する情報発信(SNS等)を8回実施した。	今後は課題の解決に向けた検討や理解度・認知度向上に向けた取組みを進める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
見直す指標:避難所等の重要施設に接続する下水道管路の耐震化率 内容:目標値の上方修正 理由:2024~2026年度にかけて実施している耐震性診断により、現在の実績値が2025年度以降の目標値を既に上回っていることが判明したため目標値の上方修正を行う。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

○水道事業 基幹管路や重要施設に接続する配水支管の耐震化は概ね計画どおりの進捗であった。2026年度以降も耐震化の早期完了と脆弱な管路の早期更新を目指す。 ○下水道事業 下水道管路及び下水道施設の耐震化並びに改築は概ね計画どおりの進捗であった。2026年度以降も計画に基づく耐震化事業の推進と、老朽化対策としての管更生や施設の改築を進める。
--